



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2021年
4月21日
発行

第85回

「日本株の底入れは近い」

～ワクチン確保と日米首脳会談を評価～

初めに

日本株が低調な動きを続けています。今年に入って日経平均は3万円を超えたもののなかなか持続的な上昇基調には乗れず、昨日は逆に新型コロナの感染拡大にアルケゴス・キャピタル・マネジメントの悪材料、ビットコインの急落など国内外の悪材料から大きく下落しました。しかし自分は日本株についての悪材料は既に出尽くしでありここから上昇に転じると予想しています。今回はそう考える理由を説明します。

日本株の上昇抑制要因

まず日本株の上昇を抑制している要因について考えます。悪影響が大きいと思われるのはやはり新型コロナです。特に英国型の変異種が関西を中心に猛威を振るっています。ワクチン接種も計画より遅れており、手を付けられない勢いです。

菅首相の奇策

そのワクチンについてですが、先日の訪米時に菅首相自らファイザーに追加を要請するという奇策をひねり出し必要な数量の確保に成功しました。正直自分は菅氏の訪米について『この忙しいときに米国まで行かなくても』と思っていたので、二兎を追う菅氏のアイデアには感心しました。今はまだ株式市場では、このワクチン獲得は評価されていませんが、接種が進めばそれが評価され、日本株を押し上げると見えています。

日米首脳会談は無事終了

もう一つ日本株の上昇を抑制していたと思われるのが、日米首脳会談で台湾防衛が打ち出された場合の中国の反発です。首脳会談に向けて連日のように中国軍機が台湾の空に侵入を繰り返していたため、中国の反応は良くて厳しい批判、下手をすれば外交官や企業に嫌がらせ程度の物はあると予想していましたが、蓋を開けるとびっくりするくらい何もしませんでした。この反応は中国としても早急に物事を荒立てるつもりがないことを示したと言えますがこれも日本株の底入れを見込む理由です。

催促相場へ

以上のように考えて日本株の底入れは近いと見えています。本日も日本株は下落していますが、これはいわゆる催促相場であり、予想される緊急事態宣言で厳しい措置が盛り込まれるほど日本株の底入れは近づくと見えています。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あつせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。